●国の登録文化財

（1）有形文化財

名　　称	所　在　地	所有者	登録年月日	摘　　要
北海道大学古河記念講堂（旧東北帝国大学農科大学林学科教室）	札幌市北区北 9 条西 7 丁目	国立大学法人北海道大学	H9.9.3	明治 42 年建築、木造 2 階建、ルネッサンス様式の建築、設計は文部省技師の新山平四郎。マンサード屋根をかけ、中央部にかつては時鐘が取りつけられていた小塔が設けられており、全体に簡素ではあるがまとまった意匠を示す。
北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	札幌市中央区南 4 条西 17 丁目 1319－1	学校法人北星学園	H10.9.2	大正 15 年建築、木造 3 階建、女子中等学校の宣教師館として建てられた。基本設計は米国人建築家ヴォーリズで、実施設計を札幌在住のスイス人建築家ヒンデルが手がけた。急勾配の大屋根や張り出し窓等，本格的な洋風のデザインを用いている点が特徴。
日本キリスト教団札幌教会（旧札幌美以教会堂）	札幌市中央区北 1 条東 1 丁目	日本基督教団札幌教会	H10.9.2	明治 37 年建築、石造平屋建、木造の教会が焼失した後に建てられたもので、木造骨組の表面に石を貼り耐火に備えた構造になる。意匠は全体的にはロマネスク風だが、バラ窓等の細部にはゴシック風の意匠もみられる。
北海道知事公館（旧三井クラブ）	札幌市中央区北 1 条西 16 丁目	北海道	H11.10.14	昭和 11 年建築、鉄筋コンクリート・木造 2 階建、約 5.6ha の広大な敷地に建つハーフティンバーの建物。当初三井家札幌別邸新館として建てられ、昭和 28 年から知事公館となっている。
杉野目家住宅	札幌市中央区南 19 条西 11 丁目 1－25	個人	H11.10.14	昭和 8 年建築、木骨煉瓦造 2 階建、北海道帝国大学（現北海道大学）杉野目晴貞教授が建てた私邸。イギリス建築の影響を強く受けた洋風建物で、当時としては珍しい集中暖房や水洗トイレが設置されている。
北海道大学農学部博物館バチェラー記念館	札幌市中央区北 3 条西 8 丁目	国立大学法人北海道大学	H12.4.28	明治 31 年建築、明治 38 年移築、木造 2 階建、重文指定北海道大学農学部博物館本館の西隣に位置する、アイヌ伝道と研究で知られるジョン・バチェラー博士の旧宅。全面下見板張寄棟屋根鉄板葺の洋館。
北海道大学附属植物園庁舎（旧札幌農学校動植物学教室）	札幌市中央区北 3 条西 8 丁目	国立大学法人北海道大学	H12.4.28	明治 34 年建築、昭和 17 年移築、木造 2 階建、旧札幌農学校キャンパス内にあったＩ字型平面からなる動植物講堂の東翼部を移築したもの。漆喰塗大壁。当時文部省建築掛札幌出張所長の中條精一郎による設計。
北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市北区北 9 条西 8 丁目	国立大学法人北海道大学	H12.4.28	明治 34 年建築、木造平屋建、旧札幌農学校キャンパス内の東南端に位置したＩ字型平面を持つ木造平屋建の建物。漆喰塗大壁造で、上げ下げ硝子窓が左右対称に配される。設計は中條精一郎。
北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市北区北 9 条西 8 丁目	国立大学法人北海道大学	H12.4.28	明治 35 年建築、昭和 27 年増築、木造 2 階建、T字型平面を持つ木造平屋建の図書館閲覧棟。現キャンパスに移転した時のもので、旧昆虫及養蚕学教室とともに現位置に遺る。設計は中條精一郎。
北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市北区北 9 条西 8 丁目	国立大学法人北海道大学	H12.4.28	明治 35 年建築、煉瓦造 2 階建、札幌農学校新キャンパスの施設である図書館の書庫。煉瓦造2階建、切妻造の倉庫建築であるが、腰積に焼過煉瓦を用い、コーナーの要所に石を配し、妻の笠石をステップ状に積むなど細やかな造型的・構造的処理が認められる。設計は中條精一郎。
エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）	札幌市南区真駒内泉町 1－6－1	札幌市	H12.9.26	明治 13 年建築、昭和 39 年移築、木造平屋建、外国人指導者エドウィン・ダンにより北海道開拓史の「牧牛場の事務所」として建てられた。開拓史の廃止後、農商務省所管の真駒内種畜場事務所として使用された。昭和 39 年現在地に移築され記念館として公開。
旧西岡水源地取水塔	札幌市豊平区西岡公園内	札幌市	H13.8.28	明治 42 年建築、煉瓦及び木造、旧陸軍第7師団歩兵第 25 連隊用として月寒川上流部に建設された水道施設。内径 1.5m、高 6.6m の円柱状煉瓦造基礎上に、六角形平面、下見板張、縦長窓付の木造胴体部と、六角錐形の屋根が載る。井上二郎設計。
沼田家住宅旧第二りんご倉庫	札幌市豊平区西岡 4 条 10－350－64	個人	H24.8.13	昭和 28 年建築、煉瓦造平屋建、札幌市東郊の水源地通りに面して建つ。北面中央西寄りの欠円アーチ戸口上部に三角ペディメントを飾る。外壁に断熱のため中空層を設け、軒蛇腹は鋸歯形に作る。整った意匠の煉瓦造倉庫。
柳田家住宅旧りんご蔵	札幌市豊平区平岸 2 条 5－9－1	個人	H24.8.13	大正後期建築、煉瓦造 2 階建、南妻面戸口に煉瓦造袖壁付の鉄板葺庇がつく。南妻の二階窓にモルタル塗袖壁付庇がある。外壁はイギリス積で軒蛇腹は歯飾りとする。草創期の煉瓦造りんご貯蔵庫である。
黒田家住宅主屋	札幌市中央区南 13 条西 7 丁目 1050	黒田合資会社	H22.9.10	東寄棟造とする主棟に南北に腰折れ屋根の妻面を見せ、東南に寄棟造の応接室、西に落棟などを付けて複雑な屋根を構成し、煙突やドーマーウィンドウを要所に飾り、変化に富む外観をつくる。
黒田家住宅蔵	札幌市中央区南 13 条西 7 丁目 1050	黒田合資会社	H22.9.10	主屋の西に蔵前を介して建つ、南北棟で切妻造鉄板葺。ブロックは札幌軟石風に表面をつくる。建ちの高く、重厚な佇まいを示す。
黒田家住宅表門	札幌市中央区南 13 条西 7 丁目 1050	黒田合資会社	H22.9.10	敷地の東辺中ほどに、玄関に向かって斜交して建つ一間腕木門で、切妻造鉄板葺とし、袖塀と石柱を付設する。扉を吊らず、潜り戸を開ける一枚戸をたて込む。袖塀は大和塀で石柱に取り付く。瀟洒で、気品のある構えを構成する。
黒田家住宅石塀	札幌市中央区南 13 条西 7 丁目 1050	黒田合資会社	H22.9.10	南北の敷地境界に建ち、江戸切仕上げの石塀で、敷地側には 4m 毎に控柱を付す。北塀は六段積で高さ 2.1m、南塀は八段積で高さ 2.7m。ともに上部に薄いブロック石と笠石が載る。軟石の風合いが敷地景観に落ち着きを与える。

●国の登録文化財

（1）有形文化財

名　　称	所　在　地	所有者	登録年月日	摘　　要
遠藤家住宅主屋	札幌市中央区南 6 条西 5-18 他	個人	H26.10.7	繁華街すすきのの一画に建つ、もと材木商の居宅。南正面に入母屋造の玄関を構え、西に内装洋風の応接室を配し、さらに六間取系の座敷部や離れ座敷を雁行させる。北面に日常居室部を連ね、煉瓦造の北壁は外塀を兼ねる。洗練された意匠を持つ上質な近代和風建築。
遠藤家住宅蔵	札幌市中央区南 6 条西 5-18 他	個人	H26.10.7	主屋の北西に接続する二階建の煉瓦蔵。焼過煉瓦のイギリス積で、両妻をブロークンペディメントとして庇付窓をあけ、コーニスに歯飾りを飾る。小屋組はキングポストトラスで、内部階段も洋風意匠とする。煉瓦造の主屋北壁とともに重厚な街路景観を形成する。
遠藤家住宅南石蔵	札幌市中央区南 6 条西 5-18 他	個人	H26.10.7	敷地東辺南寄りに建つ、札幌軟石を布積とした平入の蔵で、東面の石塀を外壁とし、両妻に窓を穿つ。石塀内側に設けた石製持送で垂木掛を支持し、片流れの屋根をかける。南側にはムロに使用したコンクリート造の地下室が附属する。敷地内の景観を引き締める蔵。
遠藤家住宅北石蔵	札幌市中央区南 6 条西 5-18 他	個人	H26.10.7	敷地東辺北寄りに建つ、札幌軟石を布積とした平入の蔵で、南石蔵と同形式とするが、桁行が九・一メートルと長い。軒先に鉢巻を廻らし軒蛇腹を付す。南北妻面の窓は隅部を丸く縁取り、鉄格子を入れる。石塀と一体的に建てられた堅牢な蔵で敷地景観に寄与する。
遠藤家住宅表門	札幌市中央区南 6 条西 5-18	個人	H26.10.7	敷地南辺、主屋玄関の斜め前方に構える、間口二・五メートルの一間薬医門である。屋根面と化粧垂木ともに緩く起りをつけた切妻造で、桟瓦葺とする。左右袖塀は潜戸をもち、石塀に接続する。規模と木割の大きな風格ある表門で、屋敷の表構えを構成する。
遠藤家住宅塀	札幌市中央区南 6 条西 5-18	個人	H26.10.7	敷地を囲む塀。東、南、西の三面は札幌軟石積とし、瘤出し仕上げで見付高さの異なる布石を交互に積む。北面は煉瓦造で、主屋の北壁を取込み、東寄りの一対の門柱と東面両隅に立てた柱には、幾何学意匠の柱頭を飾る。繁華街に風格ある景観を形成する塀。
札幌市旧三菱鉱業寮	札幌市中央区北 2 条東 6 丁目 2 他	札幌市	R1.9.10	昭和 12 年頃建築、木造 2 階建、永山記念公園にある鉱山会社の旧福利厚生施設。内部は上下階とも中廊下を通し、和室の宿泊室等を配する。戦前の民間企業倶楽部の遺例として貴重な存在。
北海道林木育種場旧庁舎	江別市文京台緑町 561－1	江別市	H13.8.28	昭和 2 年建築、木造 2 階建、野幌森林公園内の北端部にある。北海道庁林業試験場として建設。1 階を煉瓦組積造、2 階をハーフティンバー風木造とし、外装モルタル洗出とする。小屋組はクイーンポストトラス風。市の高台に位置し，地域のランドマークとして親しまれている。
旧北陸銀行江別支店	江別市 2 条 2－6	個人	H14.2.14	大正 8 年建築、石造 2 階建、江別駅近くの商業中心地にあり、切妻造・平入で、正面に下屋庇とポーチを設けた形式で、構造は石造、小屋組はキングポストトラスである。土蔵造風の外観は、地方における銀行の支店建築に通じている。
旧肥田製陶工場（EBRI）	江別市東野幌町 3-3 他	江別市	H31.3.29	昭和 26 年建築、昭和 28 年増築、煉瓦造、鉄筋コンクリート造壁部分煉瓦積。窯業で栄えた市中心部にある旧窯業工場。切妻造鉄板葺の平屋建、T字型平面の煉瓦造にL字型平面の鉄筋コンクリート造の増築部を連ねた不整形な建物で、増築部の壁を煉瓦積として一体感のある外観をつくる。 近代江別の象徴的存在で、地域に親しまれている。

●道指定文化財

（1）有形文化財

名　　称	所在地	所有者	指定年月日	摘　　要
野幌屯田兵第二中隊本部	江別市野幌代々木町 38 番地	江別市	S33.4.10	明治 18 年設置された野幌兵村のもので、残存する屯田兵軍制機関では最古のものの一つ。
阿弥陀如来立像	恵庭市上山口 476 番地	天融寺	S34.2.24	高さ 77.5 cm、建保 2 年（1214 年）の年号を持つ文書が体内より発見、快慶の作と言われている。
琴似屯田兵屋	札幌市西区琴似 1 条 7 丁目	琴似神社	S39.10.3	明治 7 年建設、北海道屯田兵制度による最初の兵屋。
札幌市 K-446 遺跡出土の遺物	札幌市中央区南 22 条西 13 丁目 札幌市埋蔵文化財センター	札幌市	S55.8.12	旧琴似川水系にある擦文時代の竪穴式住居から出土。土器 12 個（うち須恵器 1 個）・土製支脚 3 個、土製紡錘車 2 個。
旧永山武四郎邸	札幌市中央区北 2 条東 6 丁目 2 番地	札幌市	S62.11.27	明治 10 年代前半建築されたもので、当時の上流住宅として数少ない遺構である。
知里幸恵ノート	江別市文京台東町 41 道立図書館	北海道	H22.3.16	アイヌ語を母語とする女性、知里幸恵（1903～1922）が祖母や伯母から聞き覚えたアイヌ民族に伝わるユーカラなどの口承文芸作品をローマ字を用い自らの工夫で書き綴ったものです。アイヌ語を母語とし日本語にも精通する知里幸恵資料として貴重であるばかりでなく、歴史遺産として極めて重要である。
大麻 3 遺跡出土の土偶	江別市緑町西 1 丁目 38 江別市郷土資料館	江別市	H24.3.19	江別市大麻 3 遺跡から重なった状態で出土した縄文時代晩期のほぼ完形の 2 点の土偶。同一遺構から複数の土偶が出土する例は極めて少なく、学術的価値も非常に高い文化財である。
新琴似村屯田兵村記録	札幌市北区北8条西5丁目 北海道大学附属図書館	国立大学法人 北海道大学	H28.3.31	新琴似兵村（現・札幌市新琴似地区）に屯田兵が入植した翌年の明治 21 年から昭和4年までの兵村自治組織の議事録、収支予算決算書、決議事項、生産物の販売台帳等を収録した歴史資料。

（2）有形民俗文化財

名　　称	所在地	所有者	指定年月日	摘　　要
石狩弁天社の鮫様	石狩市弁天町 18	石狩弁天社 崇敬講社	H19.3.20	文政 8 年（1825 年）に漁場経営者により奉納された「妙亀・法鮫」の 2 体からなる木像。アイヌの人たちの伝承に見えるチョウザメと和人の信仰が混淆した北海道独特の信仰形態を表す。
金龍寺の鮫様	石狩市新町 4	宝珠山 金龍寺	H19.3.20	明治 22 年（1889 年）に漁場経営者により奉納された「龍神・鮫神」「妙亀菩薩」の 3 体からなる木像。アイヌの人たちの伝承と和人の信仰が混淆し、この地方の漁場経営の一端を表す。